

# 九州ブロック商工会女性部交流研修会

7月7日(木)～8日(金)、九州ブロック商工会女性部交流研修会が沖縄県宜野湾市の「ラグナガーデンホテル」にて約1,000人の女性部員参加の下、盛大に開催されました。

県内より、41名が参加し、主張発表九州ブロック大会では、大分県代表の秦千恵美さん(杵築市商工会女性部副部長)が『女性部活動に参加して～どぶろく祭り参加の火は消せない～』と題し発表しました。最優秀賞には宮崎県代表の三原明美さん(川南町商工会女性部)が『女性部活動と地域振興・まちづくり～心をひとつに～』と題し、『口蹄疫の風評被害に立ち向かった活動』について発表し、受賞されました。

また、交流会では、各県毎にアトラクションを披露。大分県は豊後大野市商工会女性部の役員を中心に「スコップ三味線」を披露。終了後には、写真撮影を求められていました。



大分県商工会女性部連合会ニュース  
第74号  
平成23年10月1日  
発行  
大分県商工会女性部連合会  
大分市金池町3-1-64  
☎097(534)9507

2日目の研修会は、(株)ラシー

マ代表取締役 島袋勉氏が「夢をあきらめない」と題し、交通事故で両足を失っても、夢を決してあきらめず頑張り、会社経営をしている実体験談について講演。また、研修会Ⅱでは、(有)海の種 代表取締役 金城浩二氏が「沖縄が世界に誇れるもの 美ら海」と題し、とサンゴの保護活動について語っていただきました。参加女性部員にとっては、とても参考になった研修会でした。



県代表 杵築市商工会女性部 秦千恵美さん



豊後大野市商工会女性部理事のみなさん



秦さんの発表！応援する大分県参加者

## 車イス募金活動

「高齢者や障害者の方にやさしいまちづくり」を目的として平成9年度から23年度まで15年間継続して取り組んできています、車イス募金活動、本年度は、総額466,200円の募金が集まりました。昨年度の募金と合わせ、本年度は県下14カ所の各施設へ寄贈を行います。(寄贈先等は、次号でお知らせいたします。) ご協力ありがとうございました。



## 商工会女性部員「仲間づくり運動」実施中

今年度も、帰属意識の高揚、組織の強化に努め今後の地域の発展及び商工会女性部の組織活性化を図る事を目的とし、「仲間づくり運動」を実施しています。大分県女性連では年々女性部員数が減少しております。このことは商工会女性部のみならず、商工会組織をも弱体化させ、地域経済の停滞にもつながります。後継者等、仲間に声をかけ、女性部活動を通して輝いている女性部員を増やし、より一層、力強い組織として地域を盛り上げていきましょう。

**\*増強運動期間\***

**平成23年6月1日～平成24年3月31日**

(全国統一増強月間:平成23年9月1日～平成23年12月31日)



## 全国統一「500円玉募金」活動 ～全女性連 災害復興支援・地域活性化事業～

今年度、女性部全国組織化45周年記念事業の一つとして、全国統一「500円玉募金」事業を実施いたしました。平成23年3月11日、東北地方太平洋沖を震源に発生した「東日本大震災」をはじめ、ここ数年、全国各地で頻発する自然災害等に対し、全女性連では、平成18年度に女性部全国組織化40周年記念事業として取り組んだ「100円玉募金」を原資とする「災害対策費」を拠出し、被災地域の女性部等への支援を行っております。

今年度も、全国約12万人の女性部員が一丸となって、被災地域における女性部員や女性部活動の復旧・復興の支援を行うとともに、地域経済活性化および地域貢献に資する女性部活動に広く活用し、全国規模での相互扶助を図ることを目的とし、県内の女性部員さんへ協力依頼をいたしました結果、782,000円の募金が集まり、先日、全国商工会女性部連合会へ送金いたしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

# Block Information

## 県北 武蔵町商工会女性部

### 部員研修でパワー結集!

私達女性部は、7月17日(日)、18日(月)と一泊二日で、長崎雲仙方面へ研修旅行を実施しました。

一日目は雲仙で道の駅「水なし本陣ふかえ」で昼食そして土石流で災害にあった家屋が当時そのままの姿で残されている「土石流被災家屋保存公園」を見学。「雲仙岳災害記念館」では、普賢岳が爆発した時の恐ろしさを映像で見ながら体感し貴重な時間を過ごしました。

二日目は長崎市内の「グラバー園」や「長崎歴史文化博物館」「出島」を視察。暑い中、今回参加した10名と事務局の総勢12名の研修でしたが、バスの中はもちろん夜の懇親会でも、なでしこジャパンに劣らないほどのパワー炸裂!改めて女性の力を実感し部員同士の交流と絆を深めた研修となりました。



部員研修に参加した女性部のみなさん

秋の全国交通安全運動に合わせ、9月21日(水)に女性部組織強化対策事業の一環として、大山支部は交通安全運動を呼び、交通安全協会大山分会、町女性ドライバー協議会、日田警察署大山駐在所等共同で「交通安全キャンペーン」を実施しました。



## 県央 日田地区商工会女性部大山支部

### うめえ運転をしつくり

9月22日「ぴんころうどんコンテスト」を開催しました。

「ぴんころ」とは、吉四六さんが江戸時代の人としては珍しく88歳まで生きたと言われており、その吉四六さんは亡くなる寸前までピンピンと元気に生活し、亡くなる時はコロリと亡くなったことから「ぴんぴんころり」の「ぴんころ」と呼ばれています。

コンテストでは審査委員には、臼杵市の中野五郎市長をはじめ、大分県中部振興局の足達賢二局長、大分県商工会連合会の清家会長等の9名が厳選な審査を行って頂きました。レシポの書類審査を通過した10名で競われ、野津町らしいうどんを見た目や味で審査をお願いしました。

出品されたうどんは、麺やダシにこだわったうどん、トッピングにこだわったうどんなどが出品されました。野津町の特産品でさつまいもの「甘太くん(カンタクくん)」の葉をすり込んだ麺や竹炭をすり込んだ麺、あんかけ、野津町で採れた地元野菜を包んだ「宝袋」を入れたうどん等、野津町らしいうどんが多くなりました。

審査の結果、優勝の「ぴんころ賞」にはカンタクんの葉をすり込んだ麺を使い、カンタクの葉や茎を天ぷらにした、カンタクつくしのうどんを作った甲斐育子さんが選ばれ、その他「吉四六賞」、「おへま賞」と3つのうどんが選ばれました。

これらの「ぴんころうどん」は、11月20日(日)に女性部が主催する「八十八ヶ所巡り」のイベントで参加者に振る舞いますので、皆さんも是非イベントに参加し、「ぴんころうどん」を食べに来て下さい!



## 県南 野津町商工会女性部

### 「ぴんころうどん」コンテスト開催!



## 商工貯蓄共済

貯蓄と有利な融資と生命保障の3つを組み合わせた商工会会員のための共済制度です。本制度の内容をご理解頂きまして全会員のご加入をお待ちしています。

**ためる 特徴1 貯蓄** 毎月の掛金は、その大部分が貯蓄積立金となり保険料にまわる金額がごくわずかです。

**かひる 特徴2 融資** 事業資金および消費関連資金として融資が受けられます。

**かんしほ 特徴3 保障** 万一の場合に大きな保障(生命保険)があります。

- **加入資格** 商工会の会員・家族・従業員で年齢が6歳から70歳までの健康な方 (10年満期は65歳まで)
  - **掛金** 掛金は1口当たり月額2,000円(モデル1.6)、月額2,500円(モデル4)です。
  - **満期更新のメリット!**
    - Point 1 現在の保障内容が継続できます!
    - Point 2 告知や診査等は不要です!
    - Point 3 病気や入院中の方でも更新可能です!
    - Point 4 満期更新割引制度(満期基準掛金の2分の1を割引する制度)が適用されます。\*10年満期商品に加入した場合のみ適用
- ※更新とは、商工貯蓄共済の共済期間が満了したときに、健康状態に関係なく原則としてそれまでの保険金額の範囲内で保障を継続できる制度の事です。

